



広報

かじき

第137号

43. 5. 28 発行

発行所 加治木町役場
発行者 曾木隆輝
担当者 向江 巧
編集者 中元 邦夫
印刷所 吉屋印刷所

全ご家庭に、もれなく配布



大雨土砂くずれに注意

6月を迎えると、いよいよ本格的なつゆの季節になります。農家にとってはたいせつな雨をもたらす季節ですが、一般の勤め人にとってはゆううつな時です。まず健康に十分注意して、とくに伝染病などにかからないよう、元気にこの雨季を乗り越えましょう。

10日は時の記念日です。いまでも〇〇時間ということを耳にします。大正9年に設けられてから50年の年月を経ています。もう一度この日

の意義を見なおして、わたしたちの身のまわりの時間をたいせつにしたいものです。

水害のおきるのもこの雨季からです。川や溝のそばにごみをすてたりすると、大きな災害をもたらす原因となります。山間部では土砂くずれ等に気をつけてください。農家ではこれから家を留守にする機会が多くなります。火の始末プロパンの元栓、戸じまりに十分気をくばりましょう。写真…季節の味を求めて(須崎海岸)

加治木町と伊集院町が

「教育姉妹町」の契り

地理的にも、歴史的にもよく似た伊集院町と加治木町は、姉妹都市としてお互い教育文化の振興をはかろうと、さる四月十三日両町の町長、助役、議長、教育関係者約六十人がエビスマホールに集まり盟約式を行いました。

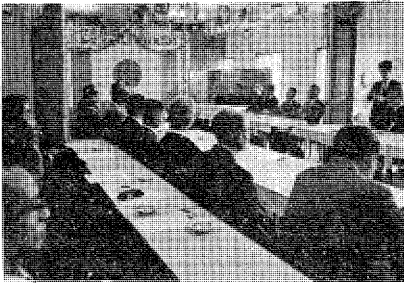
式は桑幡教育長(加)あいさつのあと白尾国男(加)内俊行(伊)両町教育委員長が宣言文に調印し、有馬県教育委員長や

両町長、始良教育事務所長の祝辞があり、行船加治木中学校長を座長に意見交換会が行なわれました。教師や児童生徒の研修生を派遣して、お互い教育を向上するよう。

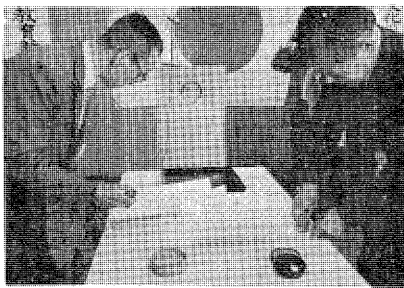


加治木町の教育実績あがる

三月三十日町議会最終日に、桑幡教育長は、人事移動の報告をすると共に、本町の小学校の成績は昨年末の県下いっせいテストでどの学校も県平均を上回り、なかには県下一番の成績をあげた学校もあって、実績があがって来た旨の報告をしました。



盟約式々場



調印する両町の委員長

参議院選を明るく正しい選挙に

第八回参議院議員の通常選挙もあと二か月ほどに迫りました。今回の選挙は、全国区五十一人、地方区七十五人の計百二十六人の議員が選出される予定です。

衆議院で決めたことを、もう一度考えなおしてみる役割をもつ参議院の存在意識を十分認識し、

各民主団体(町・婦・Pなど)も交換して、社会教育に力を入れよう。

学校、社会教育ともに資料の交換をしよう。

人事の交流もして、また、結婚の事や産業のことも気をつけ合ひましょう。

など、話し合いがなされ南正行教育長(伊)の閉式のあいさつで幕をとじました。

宣言文は次のとおりです。

宣 言

伊集院町と加治木とは、政治経済、教育、文化など似類した点が多く、また、島津義弘公ゆかりの地としてもその関係が深い、明治百年の記念すべき年にあたり、今後益々教育、文化等の向上発展をはかるために、ここに教育姉妹町提携の契りを結ぶことを宣言する。

昭和四十三年四月十三日
伊集院町教育委員会
加治木町教育委員会
スポーツ振興審議会
委員新たに任命

さきほど開かれた町教育委員会で、任期満了に伴うスポーツ振興審議会委員を次のとおり任命しました。任期は二か年で43・4・1から45・3・31までです。

◎渡辺愛之(諏訪町) 一 会長
○小浜氏長(飯屋町) 一 副会長
宮永栄治(新富町)
馬場忠彦(反土田中)
岡山秀樹(木田西塩入)

町農協総会と

町老人大学講座開かる

四月十五日柘城校講堂で、町農協の総会が開かれ、組合員千二百名ぐらゐが出席し、四十二年度事業や決算の認定と、四十三年度事業、予算の決定など、十議案の審議がスムーズに行なわれました。

組合員の努力で、二百万円近い剰余金が出て、実績もあがっていることなどについて来賓からお祝いと、励ましのことは述べられました。

◎四月十六日加中体育館で、町老人大学の講座が開かれました。お年よりが三百人ぐらゐ出席されました。

町長が「加治木の現在と将来」について話したあと、新納県立図書館長の「明治百年を顧りみて」の講演があり、このあと富重主事の指導でレクリエーションがありました。

お年よりのみなさんは「いい勉強をしました」と喜んでいました

6月の納税

6月の納税は町・県民税の1期分です。

— 納期は7月1日まで —

町内で初の地区レクリエーション大会

九部落が一つになって一日を楽しむ

東元地区公民館

竜門東元地区公民館（九部落）では、さる四月十四日竜門中学校グラウンドで地区民総出の第一回スポーツレクリエーション大会を盛大に開きました。

大会はまず、開会式のはじめに町民憲章を朗読して、地区民みんなが心を豊かにして元気で働き、明るく楽しい地区づくりの力を合わせて努力することを誓い合いました。

プログラムの進行とともに、みんなの気持はピタリとけ合い、幼児からおとしよりまで出場する多彩な種目の組み合わせに、終日たのしくすごしました。



“それ頑張れ”壮年リレー



“幼児のかけっこ”まだよまだよ

特に、競技につづいて行なわれた幼児、児童生徒、青壮年、婦人高令者の各層にわたってのこの自慢大会は、地区民の心のふれ合いをさらに深める行事として有意義な催しで、中でもかわいいうちの出演にはみんながたずをのんで聞き入り、心から拍手をおくっていました。

地区公民館がいつしよになってのレクリエーション大会は、この地区が町内でははじめてのことです。一つの部落でできないこのような行事は、地区中心の活動へもっていくところには部落組織改変のねらいがあるわけです。

東元地区公民館は小山田の県道南入口から竜門小学校周辺に散在する九部落（布越・井手向・高崎岩穴口・徳永・小田倉・迫上・迫下・御狩山）一七二戸で組織された地区館です。

補導員研修会日程きまる

本年度の補導員研修会は、町教委と町P連の共催で次の日程により開きます。

- 5月31日竜門地区（竜門小）
 - 6月1日永原（永原中）
 - 6月8日中央（加治木中）
- 時間はどの会場も午後2時から午後4時30分までです。

いつしよの田植賃金きまる

ことしの農作業の標準賃金が決まりました。

▲耕うん料（動力・畜力）

初	田	麦	田	代かきのみ
耕起のみ	代かきまで	耕起のみ	代かきまで	初田
二、〇〇〇円	四、〇〇〇円	一、五〇〇円	三、〇〇〇円	麦田
				一、五〇〇円

▲田植え賃金

男女とも昼食なしで六五〇円
作業時間は午前8時から午後6時まで

休けい時間は午前中30分
昼食時1時間・午後が30分
実際の労働時間は8時間とします。



“親子の綱引き”よいしよよいしよ

酒を飲むと、運転がみだれ、危険だということは、だれでも知っていることです。

それなのに飲酒運転がなくならないのは、運転者が「これくらいなら...」という自分の運転への自信と、またまわりの方の事故さえ起こさなければ少しぐらいはという甘い気持がはたらくからでしょう。酒は魔神です。酔っぱらい運転は地ごく行きと思いたし「酒を飲むなら運転しない」「運転をする人に酒をすすめない」「酒を飲んだ人には運転させない」このような運動を、家庭から職域、地域ぜんたいにひろげてゆきたいものです。

体育指導委員紹介

町教育委員会は、このたび、任期満了に伴う体育指導委員を次のとおり任命しました。

任期は二か年で、43・4・1から45・3・31までです。

- ◎印会長 ○副会長
- ◎小浜氏長（飯屋町）
- ◎馬場忠彦（反土田中）
- 末永菊雄（木田楠園）
- 林 正則（反土萩原）
- 立小野五十磨（木田岩原西）
- 蓬原春香（西別府蒲谷）
- 猪目 明（木田高井田）
- 柏木 充（反土田中）
- 片之坂優（反土札立）
- 有馬純豊（反土萩原）



道路の整備に グレーダーが活躍

町では、労働省の補助や須崎の九州建設機械の協力で、グレーダー（道路の表面を削る機械）一台を購入し、今後道路の改善などに使うこととしました。町道だけでなく農道にも使って町内一円の道路をよくするために役立たせることとしています。

普通扶助料

時効によってまもなく 請求できなくなる

旧軍人軍属等の恩給は、終戦後傷病恩給の一部を除いて、昭和二十一年二月一日廃止されましたがその後、昭和二十八年八月一日に新しい制度として再発足し、同年四月から支給されるようになったものです。今回お知らせする「時効によってまもなく請求できなくなる普通扶助料」も、昭和三十六年の法律改正によって旧軍人軍属についての加算年が認められた結果、支給されるようになったものです。

加算というのは、たとえば、旧軍人等が支那とか南方に行なった場合に、その地方で戦いが行なわれたとか、それに似た危険な勤務に付いたということ、一月の勤務について二月とか三月の期間を突在職年に加えて計算し、恩給上有利な取扱いをしようとする制度です。恩給を受ける権利は、その権利が発生した日から七年間請求しないと時効によって消滅することになりますので、この加算年を

新たに町章を募集!!

躍進する町の象徴として

さきに町民憲章、町民歌を制定し、わたしたちの町では明るく豊かな郷土づくりの目標をたてて努力していますが、明治百年を記念して、今後の加治木を象徴する町章を制定し、町のシンボルとするためにひろく一般から募集します。ふるって応募してください。

(要項参照)

「明治百年記念」

一加治木町町章募集要項

◎内容

①町制施行後56年、戦災等の苦難を乗り越えてさらに発展しようとする加治木を象徴するもの

②漢字かなの図案化にとどまらず加治木の進むべき姿を象徴するもの。

◎形式

洋半紙半枚大の画用紙にエンピツ書きし、裏にその意味をかき住所氏名年令職業を書いた紙片添付のこと。

◎募集期限

昭和43年6月30日

◎送付先

教育委員会または役場広報係

◎賞金

特選1万円
佳作3千円(2点)

◎版權

当方に帰属する

◎募集主体

加治木町・町教育委員会

満20歳になった人 -----は
転入してきた人

すぐ 永 久 名簿登録の申し出を
選挙人

申し出がなければ選挙人名簿に登録されず選挙ができません。

算入することによって権利の生じる普通扶助料については、その請求期限が昭和三十六年十月一日からちょうど七年にあたる今年の九月三十日をもって満了することになります。(普通恩給は来年の九月三十日)
とくに扶助料というのは、遺族(妻、未成年の子、父母、祖父母等)に支給される恩給です。かく請求を忘れがちです。かつて軍人軍属であった人を身内としておられる方は、この機会にもう一度、故人の軍隊当時の経歴等を調べるのが肝心です。恩給権があると思われる方は、県の恩給事務担当課に照会されて早めに請求手続きをとるようにしてください。

税金はまとめて（一年分）

納めるとお徳です

税金を「一年分まとめて納めようか」または「二・三・四期分をまとめて納めたい」とお考えのかたが、かなり多くいらつしやると思ひます。

市町村としては、年間いろいろな事業を計画してはいますが、その主な財源である町税が、少しでも早く納められることによって、各種の事業が早く着工できることとなります。

地方税法では、このように早く税金を納められるかたがたには、この前納した期間に対し、奨励金を納税者に交付することに、なつています。

これは、町民税と固定資産税に限られています。固定資産税を例にとつて、四月十四日に一年分を前納した場合の計算方法を示しますと別表のようになります。

この奨励金は、会計の窓口で税金を納入されるときに、納税組合の報償金とは別に、すぐその場で個人（納税者）に支給されます。

期別 (A)	納期日 (B)	税額 (C)	前納した期間 (D) (4月14日からBまで ただし納期の月は除く)	支給率 (E)	奨励金の額 (F) (C) × (E)
1	4月30日	2,300円	○	$\frac{1}{100}$	○
2	7月31日	2,000円	3 か月	$\frac{1}{100}$	60円
3	9月30日	2,000円	5 か月	$\frac{1}{100}$	100円
4	12月25日	2,000円	8 か月	$\frac{1}{100}$	160円

年税額 8,300円.....計 3,200円

青少年のつどいに

太鼓おどり参加

明治百年記念式典の前夜祭として、四月五日夕刻から鴨池野球場で、県下の青少年代表を集めての

「青少年のつどい」が催されました。

皇太子、同妃両殿下をお迎えして、歌の合唱、かがり火点火、古武道などが行なわれましたが、加治木の太鼓おどり、吉左右おどりも参加し盛会でした。

本県のマイナス面を 気にするな!

海音寺潮五郎氏

明治百年記念講演に帰省中の作家、海音寺潮五郎氏を、四月八日加治木に招いて、柁城校講堂で明治維新秘話を約二時間にわたり講演してもらいました。

最後に「貧乏県とか、台風常襲地帯とか、口べたなど、本県のマイナス面ばかり気にせず、やる気がかかれ



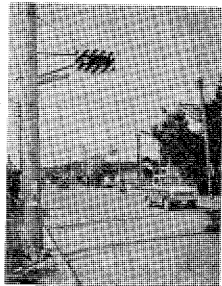
講演中の海音寺先生

加治木ガスの 操業はじまる

昨年からの準備をいそいでいた都市ガスの配給施設は、ようやく用意がととのいましたので、四月初めから操業を始めました。

一千数百戸の方が利用しておられるそうで、加治木も都会なみになりました。

端山のかどに 信号機



(取り付けられた信号機)

町内の端山かどは見とおしがよくきかないので、交通事故の多いところでした。

「何でもやれるのだ、という意気をもって、若い人たちは先輩の志をついで立て」と結び感銘を与えました。

龍門青年会結成さる

既報のとおり本町では地域青年会が、つきつき結成されつつありますが、さる五月五日に龍門青年会が新たに生まれました。

結成式当日は発起人代表が経過説明のあと、規約案を審議、新しい世代の青年組織として熱心に討議、一部修正して決定しました。○当日は、七十数名が集まりましたが、近い将来七〇名の組織にするという大きな夢をもち、仲間をふやして研修を深め、明るい郷土づくりにつとめようと誓い合いました。

なお、龍門地区だけの集いだけでは時流にとりのこされるということで、さきに大同結成された「加治木町青年団体連絡協議会」にも加入して、広く全町青年と手をつなぎ向上発展することになりました。

- 選出された役員
- 会長 吉村孝之 (迫)
 - 副会長 犬童照幸 (布越)
 - 書記 上別府満幸 (御狩山)
 - 会計 緒方信吉 (布越)

部落あげての運動会

東元地区迫部落自治会

昨年第一回部落運動会を開き、部落づくりに大きな成果をあげた竜門東元地区迫部落は、今年もさる四月二十一日部落運動場で盛大に部落民全部が集まり、二回目の運動会を開催しました。

年一回ひらくこの運動会は、子どもからおとしりまで、部落の全員が出場する総ぐるみの催しでプログラムも二十四回組んで、大会長は部落自治会長、進行係は体育保健部長、競技役員は、青壮年会場整理はスポーツ少年団とそれぞれ協力し合って運営されます。

会場設営は大会前日の午後、各戸一名の奉仕活動で行なうことになっていますが、多忙な中で行事にもかかわらず、作業するみんなの表情は、明日の大会をより有意義なものにしようとするところのしそです。

迫部落の特色は、地域住民みんながいつしよにスポーツ活動を行なうことよって、明るい地域づくりに役立てることを基本にしていることでしょう。

この運動会に参加したおとしりたちの声は、遠くバスなどを利

つぎのお便りには

ぜひ郵便番号を

七月一日から、みなさんが差し出される郵便に郵便番号を書くようになりました。これからは、赤いわくを印刷してある封筒やはがきが、売りに出されることになりましたが、これは郵便番号を書き入れるための欄です。

郵便番号とは、全国の郵便局の受持ち配達区域ごとにつけられた、三けたの番号（一部の地域はさらに二けたの子番がつきます。）で郵便を差し出すときあて先の住所、氏名といっしょに赤いわくの中に、この番号を書

くこととなります。各家庭には、郵便番号簿を配ります。

郵政省では、この郵便番号をお知らせするために、六月ごろみなさんご家庭に、郵便番号簿を配ることにしています。郵便が早く届きます。

郵便番号を書いて出すと、郵便が早くなり、迷子郵便が少なくなりま

す。あなたの番号も書きましよう。郵便を出すとき、あなたの住所や各まれの横に郵便番号八九九一五二の番号を書いて出しましよう。郵便番号は、まず自分のを相手

用しての慰安行事よりか、みんなと共にたのしみことのできる来年度の運動会がたのしみの一つですと話していました。



おとしりの短距離走

八幡化学セメント・サービス

ステーションが落成

加治木港の拡張を本年度から見込んでいますが、九州縦貫道も近く着工されますので、加治木にいろいろな工場の進出が予想されます。

昨年から建設中の八幡化学のセメント・サービス・ステーションもでき上がりましたので、三月二十六日約二百人あまりのお客さんを招いて盛大な落成式がありました。社長の小室さんは、むかし町

長といっしょに机を並べて働いたことがあり、通産局長などをつとめた人で、本町諏訪の出身、故桑原親通氏（浦和高校教諭、旧性川上）の教え子とのこと、加治木をたいへんなつかしがっていました。

出光興産は、九か月間も待ったが地元との話がつかず、進出を断念しました。このごろ他に徳山セメントの基地の話も出ています。

大井実澄さんらに

日赤有功章親授

四月七日県文化センターで行なわれた、九州各県連合の日赤支部大会で、各県日赤功労者に皇太子妃から有功章を贈られました。本町朝日町の医師大井実澄さんもそのひとりでした。

簡易保険の最高額は

百五十万円に

四月一日から簡易保険の最高加入額は、百五十万円に引き上げられました。すでに昨年の七月から引き上げられていたクローバー保険とあわせて、これで簡易保険の全種類が百五十万円まで加入できることになりました。

こんどの引き上げにより、いっそう簡易保険の保障力がふえるこ

とになります。加入者が払い込んだ保険料は郵政省で管理し、簡保資金として地方公共団体、政府関係機関等へ融資されます。

加治木町へは、これまで八千六百四十万円が融資され、学校、道路、橋、住宅などの建設に利用されています。

◆あとかぎ◆

町民の皆様にはいつも広報がじきをご愛読くださりましてありがとうございます。どうぞごい

五月は一三七号をおとけしませんが、広報事項が多く編集できなかった香典返し寄付のお礼、交通地籍調査、地区公民館のことなど原稿が次号（六月）を待っておりま

